

<目次>

CSR 調査レポート —アメリカ(2009) —

はじめに	3
調査概要	4
訪問先マップ	5
訪問先および訪問先一覧	6
訪問先レポート —企業・NPO / NGO・大学・研究機関、等—	
1. GAP 財団	9
2. アースハウス	11
3. 講演会「幸福の経済学」 by ヘレナ・ノーバーホッジ	13
4. センター・フォー・エコリテラシー	15
5. デイビッド・ブラウワー・センター	18
6. エディブル・スクールヤード (マーチン・ルーサーキング Jr. 中学校)	20
7. UC バークレー HAAS ビジネススクール	22
8. グローブ・コンサルタンツ・インターナショナル	25
9. プレシディオ・ビジネススクール・オブ・マネジメント	27
10. パチャママ・アライアンス	29
11. ゴールデンゲート・インスティテュート	31
12. グリーン・ガウチ・禅センター	33
13. ビジネス・フォー・ソーシャル・レスポンシビリティ (BSR)	35
14. ヒューレット・パッカード (hp)	38
15. ミュア・ウッズ国立モニュメント	41
7人のキーパーソン	
1. アンナ&ローレンス・ハルプリン	45
2. ハワード・シェクター	48
3. ジョアンナ・メイシー	51
4. カール・アンソニー	53
5. ハンター・ロビンス	55
6. ボニー・ニクソン	56
7. ハイ・グエン	57

11のキーワードでふりかえる米国調査

- 1. 学びのキーワード by 岡本享二61
- 2. 学びのキーワード by 中野民夫64

続・米国 ESD&CSR を巡る旅 by 新谷大輔

序. 米国を知る新たな学び

- 1. ボランティアと米国の NPO69
- 2. 社会的に認知され、その活動が注目される社会起業家.....71
- 3. 五感で気候変動を学ばせる.....73
- 4. 多様性の在り方.....74

おわりに.....77

本書に記された氏名および機関名、称名などには、各執筆者により異同がありますが、各フェローの文章を尊重させて頂き、そのまま掲載させて頂きました。

<はじめに>

立教大学ESD研究センター
CSR チーム 研究フェロー
中野 民夫

オバマ大統領に変わって、久々にアメリカへの関心が高まった。イラク戦争を引き起こし、地球温暖化防止に消極的で、持続可能性の面でも課題が多かったブッシュ政権。一転して、黒人初のオバマ大統領に変わり、グリーン・ニューディールなど新しい息吹が聞こえてきた。もともと、民間企業やNGOや市民等の中には、先進的かつ積極的な取り組みをしている人たちがたくさんいる国でもある。中でも、多様性の中から常に新しい動きを生み出してきたカリフォルニア州サンフランシスコ・ベイエリアでは、どんな動きが展開しているのだろうか。

立教大学ESD研究センターのCSRチームでは、2009年6月に、ベイエリアの企業や研究機関、NGOや有識者等が、サステナビリティに関する教育およびCSRにおいて、どのような取り組みを行っているのかを視察調査することにした。テーマはESD & CSRである。

中野がかつて勤務先を休職して留学していた地でもあり、旧知の縁もたどった。直前のインフルエンザ騒ぎによる渡航制限で、阿部センター長と川嶋チーム長が参加を見合わせるようになるなど、波乱の展開もあった。結局、岡本・新谷・中野の三名の研究者によるコンパクトな視察団となったが、おかげでフットワークよく、6日間で約20の訪問先を巡る大変濃い旅となった。様々な意味で、得たもの感じたことは多かった。

また新谷研究者は、その後、この地域での社会起業家の動きなどを中心に追加の調査も行った。

これらの成果を少しでも分かち合い、日本での持続可能な開発のための教育（ESD）や、CSRの進展に寄与したいと願ってこの報告書をまとめた。なんらかの参考になればとてもうれしい。

2009年10月

<調査概要>

【日程】

2009年6月3日（水）～10日（水）

【訪問先】

サンフランシスコ・ベイエリアの組織・個人など20カ所（詳細は、訪問先マップ（P.5）および訪問先一覧（P.6）を参照のこと）。

【調査の目的】

次の諸点についてアメリカ（サンフランシスコ・ベイエリア）の状況を調査することを目的とした。

1. 日本におけるESD指導者養成プログラムの開発を射程に入れた、アメリカの企業やNPO、市民等における持続性教育に関連する現状調査
2. オバマ政権の環境とグローバルな社会的課題への対応に関する調査
3. アメリカにおけるCSRの潮流調査
4. アメリカの企業におけるESD（サステナビリティ教育）の現状調査
5. ESDに関する個人および団体とのネットワーク構築

【調査者】

岡本享二 立教大学 ESD 研究センター CSR チーム研究フェロー
東北大学 大学院環境科学研究科 講師
ブレイメン・コンサルティング(株) 代表取締役

中野民夫 立教大学 ESD 研究センター CSR チーム研究フェロー
大学院 21 世紀社会デザイン研究科 講師
(株)博報堂 コーポレートコミュニケーション局
ワークショップ企画プロデューサー

新谷大輔 立教大学 ESD 研究センター CSR チーム研究フェロー
大学院 21 世紀社会デザイン研究科 講師
(株)三井物産戦略研究所 研究員

【コーディネーター】

パロマ・パベル氏（アース・ハウス 代表）
両宮寛氏（コーポレート・シチズンシップ社 代表取締役）
新谷大輔・中野民夫（ESD 研究センター）

<訪問先マップ>



マリン郡

【サウサリート】

11. ゴールデンゲート・イン
ステイテユート

【タマルpais山】

12. グリーン・ガウチ・禅セ
ンター
15. ミュア・ウッズ国立モ
ニュメント

【サンアンセルモ】

- アンナ&ローレンス・ハル
プリン

【スティンソンビーチ付近】

- ハワード・シェクター

サンフランシスコ市内

【ダウントウン】

1. GAP財団
13. ビジネス・フォー・ソー
シヤル・レスポンシビリ
テイ
14. ヒューレット・パッカ
ード

- ボニーニクソン

【プレシディオ地区】

8. グローブ・コンサルタン
ツ・インターナショナル
9. プレシディオ・ビジネス
スクール・オブ・マネジ
メント

- ハンター・ロビンス

10. パチャママ・アライアン
ス

オークランド

2. アースハウス
- カール・アンソニー

バークレー

3. 講演会「幸福の経済学」
by ヘレナ・ノーバーホッ
ジ

4. センター・フォー・エコ
リテラシー

5. デイビッド・ブラウワー・
センター

6. エディブル・スクール
ヤード (マーチン・ルー
サーキング Jr. 中学校)

7. UCバークレー HAAS
ビジネススクール

- ジョアンナ・メイシー

(*数字は、レポートの順番と対応)

<訪問先および訪問者一覧>

日付	訪問先名
6/3 (水)	GAP 財団 アースハウス ボニーニクソン 講演会「幸福の経済学」by ヘレナ・ノーバーホッジ
6/4 (木)	センター・フォー・エコリテラシー デイビット・ブラウワー・センター カール・アンソニー ジョアンナ・メイシー エディブル・スクールヤード (マーチン・ルーサーキング Jr 中学校)
6/5 (金)	UC バークレー HAAS ビジネススクール グローブ・コンサルタンツ・インターナショナル プレシディオ・ビジネススクール・オブ・マネジメント／ハンター・ロピンス パチャママ・アライアンス
6/6 (土)	ゴールデンゲート・インスティテュート アンナ&ローレンス・ハルプリン ハワード・シェクター
6/7 (日)	グリーン・ガウチ・禅センター ミュア・ウッズ国立モニュメント
6/8 (月)	ビジネス・フォー・ソーシャル・レスポンシビリティ (BSR) ヒューレット・パッカー (hp)
協力	ハイ・グエン